

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|----|----|----|
| 分野 | 演劇 | 種目 | 演劇 |
|----|----|----|----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-------|
| 申請区分 | A区分のみ |
|------|-------|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数申請の有無 | 有 | 申請総企画数 | 2企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|----------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|----------------------------|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-------------------|---|---|---|
| ふりがな 制作団体名 | ゆうげんがいしゃ とうきょうえんげきあんさんぶる 有限会社 東京演劇アンサンブル | 団体ウェブサイトURL | http://www.tee.co.jp/ |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 津金洋子 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 352-0011 埼玉県新座市野火止3-16-24 | 最寄り駅(バス停) | 新座駅 |
| 電話番号 | 048-423-2521 | | |
| ふりがな 公演団体名 | とうきょうえんげきあんさんぶる 東京演劇アンサンブル | 団体ウェブサイトURL | 制作団体に同じ |
| 代表者職・氏名 | 制作団体に同じ | | |
| 公演団体所在地 | 〒 制作団体に同じ | 最寄り駅(バス停) | 制作団体に同じ |
| 制作団体 設立年月 | 1954年12月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役 津金洋子 取締役 小森明子 | 〈構成員〉 劇団員48人 俳優部44人 演出部1人 制作部4人 | 〈加入条件〉(俳優部)劇団附属俳優教室の卒業生もしくは2年以上の俳優経験者。運営委員会の推薦承認が必要。(制作部・演出部)運営委員会の推薦・承認。 |
| 事務体制 (専任担当の有無) | | 本事業担当者名 | 太田昭 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理責任者名 | 矢嶋敏恵 |

| | | | | |
|-------------------------------|---|--|-----------|--|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>1954年俳優座養成所の三期生を中心にした「チェーホフ研究会」が劇団三期会として設立。演出家の故・広渡常敏を創造の中心として活動を展開してきた。1957年、紡績女子労働者たちに取材して集団創作した『明日を紡ぐ娘たち』を上演、社会的にも大きな反響を呼び、この作品が劇団の演劇論を支える核となる。第一回岸田戯曲賞受賞。1970年、劇団名を「東京演劇アンサンブル」と改称。1980年、練馬区武蔵関に拠点劇場「ブレヒトの芝居小屋」を構え、既成にとられない空間、演劇づくりを展開。このユニークなオープンスペースは、文化人の集う劇場としての機能を果たした。2019年諸事情によりブレヒトの芝居小屋を閉館、新座市に拠点を移し新たな稽古場・野火止RAUMを創造の源泉として活動している。1990年から定期的に海外公演を実施。これまでに11ヶ国22都市での公演を実現。日本の現代演劇を世界に紹介している。2006年5月、「ブレヒトの芝居小屋」の活動が高く評価され、広渡常敏が倉林誠一郎賞を受賞。2007年3月、劇団が湯浅芳子賞を受賞。</p> | | | |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>学校公演上演作品（～1965年より～） いやいやながら医者にされ(モリエール 作)／強制結婚(モリエール 作)／グスコブドリの伝記(宮沢賢治 原作)／奇蹟の人(W・ギブソン 原作)／十二人の怒れる男たち(R・ローズ 脚本)／ジョー・ヒル(B・ステイビイス 作)／真夏の夜の夢(シェイクスピア 作)／走れメロス(太宰治 原作)／木かげの家の小人たち(いぬいとみこ 原作)／夜の空を翔ける(広渡常敏 作)／銀河鉄道の夜(宮沢賢治 原作)／思い出のブライテンビーチ(ニール・サイモン 作)／テンペスト(シェイクスピア 作)／コーカサスの白墨の輪(B・ブレヒト 作)／国語元年(井上ひさし 作)／おんによる盛衰記(木下順二 作)／セチュアンの善人(B・ブレヒト 作)／ラリー ぼくが言わずにいたこと(ジャネット・タージン 原作)／消えた海賊(広渡常敏 作) 年間50～80ステージ程度の学校公演を実施しています。</p> | | | |
| <p>特別支援学校等における公演実績</p> | <p>文化庁公演により 長崎・希望ヶ丘養護学校『走れメロス』 文化庁公演により 滋賀・甲良養護学校『走れメロス』 平成25年度、島根・出雲養護学校『銀河鉄道の夜』 ほか ワークショップでは、東京都立石神井特別支援学校でのワークショップ実績あり。</p> | | | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>申請する演目のWEB公開資料</p> | <p>有</p> | | |
| | <p>※公開資料有の場合URL</p> | <p>https://youtu.be/TN-aaQaH0Og</p> | | |
| | <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>ID:</p> | <p>なし</p> | |
| | | <p>PW:</p> | <p>なし</p> | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京演劇アンサンブル 】

| | | | | | |
|--|--|------|----------|----|------------|
| 対象 | 小学生(低学年) | - | | | |
| | 小学生(中学年) | ○ | | | |
| | 小学生(高学年) | ○ | | | |
| | 中学生 | ○ | | | |
| 企画名 | 音楽劇 消えた海賊 | | | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | 作:広渡常敏 構成・演出:公家義徳 音楽:林光 舞台美術:池田ともゆき 照明:宮田正芳 衣裳:稲村朋子 振付:菊地尚子 音響:田村恵 合唱指導:吉村安見子 宣伝美術:スズキコージ 舞台監督:三木元太 制作:小森明子・太田昭 | | | | 公演時間 105 分 |
| 著作権、上演権利等の 許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当なし | 該当コンテンツ名 | | |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 | 許諾確認状況 | | |
| 演目概要 | とある港町。戦争の足音が近づいていたある日、妙な海賊団が結成された。彼らは、国を飛び出してきた王子や神父・船大工・女たち、そして戦争から逃れてきた男たちだった。どこの国にも属さない、誰の持ち物でもない、独立自営の海賊たち。自由と平等を愛し、人殺しをしない、海賊らしくない海賊が、若さって何だ！ 自由って何だ!! と大海原に漕ぎ出していく。 2002年都民芸術フェスティバルで広渡常敏(作)と林光(作曲)の名コンビが生んだ作品を、今の世代のスタッフたちが意匠を変えて、ポップな弾んだ舞台に生まれ変わらせました。変形していく舞台、たっぶりの歌とダンス、カラフルな衣裳で青春を謳歌します。パワフルな俳優たちのアンサンブルによる痛快な音楽劇です。 | | | | |
| 演目選択理由 | これは仲間づくりの過程を描いた作品です。自分の考えを口に出して少しずつ仲間になっていく海賊たちの姿は、内にこもりがちな生徒たちに勇気を与えています。他人の自由も考えられることが仲間づくりには必要なこと、男と女は平等だということ、命令をしないチームを作ろうということ、初めての選挙等々、民主主義の大根本を賑やかな音楽劇でわかりやすく綴ります。既に学校公演での実績があり、大好評であることも、演目選択の大きな理由です。 また、大掛かりな舞台装置は、「体育館を劇場に！」をそのまま実現した作品となります。その点も欠かせない理由となります。 | | | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | ①「海に歌う」全校児童・生徒の合唱 ②「マンガース」全校児童・生徒での歌の掛け合い ③船の完成までのカウント・アップ ④選挙のシーンに登場人物として出演します。⑤「恐ろしい海賊の歌」の間奏で、役者たちが10人ほどの選抜隊と通路を走り、そのまま舞台へあがり、ダンス。⑥「夜の海で歌われた歌」女性全員合唱。選抜隊は舞台上で歌う。⑦MCに誘われて、先生・生徒(各1人)が舞台へあがり、フリートーク。前半に参加シーンがあり、後半は落ち着いて観劇していただくように工夫してあります。ただし、新型コロナウイルス拡散防止の観点より、公演時のガイドラインに従った演出の変更の可能性があります。 | | | | |
| 出演者 | 出演 雨宮大夢 小田勇輔 永野愛理 原口久美子 洪美玉 三木元太 仙石貴久江 町田聡子 原口久美子 和田響き 永濱渉 浅井純彦 堀光太郎 二宮聡 | | | | |
| 本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む | 出演者: 14 名 | 運搬 | 積載量: 3 t | パン | |
| | スタッフ: 8 名 | | 車長: 11 m | 7m | |
| | 合計: 22 名 | | 台数: 1 台 | 1台 | |

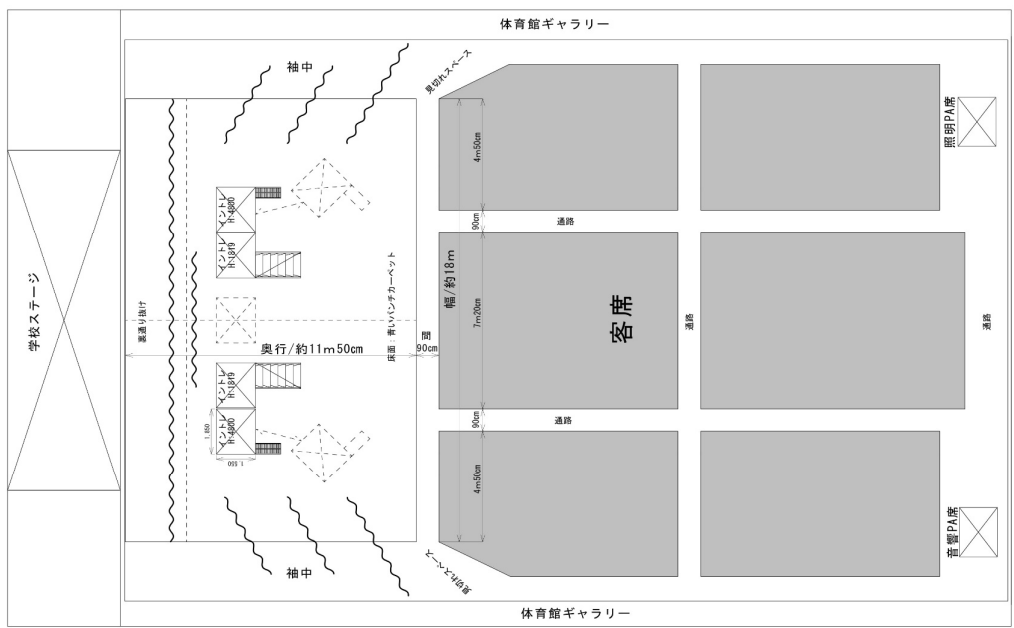
| | | | | | | |
|--|-------|------|-----------|-----|-------|--------|
| 本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安 | 前日仕込み | 有 | 前日仕込み所要時間 | | 3 | 時間程度 |
| | 到着 | 仕込み | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 8:30 | 8:30 | 13:30 | なし | 15:15 | 17時30分 |

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

| | | | | | | |
|---|-----|-----|----|----|-----|--|
| 本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
| | 6日 | | | | | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 33日 | |
| | 6日 | 14日 | 7日 | | | |

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

| | | | |
|------------------|-----|--------|---------------|
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | 共演人数目安 | 500 ※選抜は10+40 |
| | | 鑑賞人数目安 | 500 |



消えた海賊 体育館舞台基本図面

※体育館のステージは使用しません。フロア面に舞台を設置します。
 ※客席は直にフロアに座ってもらいます。椅子は使用しないようにお願いします。
 ※舞台の設置方向は、電源版の位置・生徒の出入り場所等によって、決めます。
 ※詳細の決定は、舞台の仕込み当日、実際に体育館を見てからになります。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



【公演団体名 東京演劇アンサンブル】

| 児童・生徒の 参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 500人 選抜10人と40人 |
|-------------------------|--|--------|----------------|
| ワークショップ 実施形態及び内容 | <p>指導者は4～5名で行います。2部構成にし、1部を全校児童・生徒で実施し、2部を選抜隊のメンバーで実施します。</p> <p>最初の発声では、日常の声と、非日常の発声の違いを知ってもらいます。セリフ同様、歌うということも意識的に「身体を通して出る声」が、日常とは違うことを体験してもらいます。みなで体を動かすことにより、声だけでなく、他者とのコミュニケーションをどうとるかを意識してもらいます。全校児童・生徒と先生方も一緒に参加し、劇団員と声を出し動く中で、学校の日常生活では見る事ができなかったお互いの表情を見ることで、学校でのコミュニケーションの形にも変化を期待します。全校での参加により、より良い学校生活に貢献できるような事業になることを狙っています。演劇という芸術の本質的な魅力にじかに向かいあうことが大きな経験となります。</p> <p>内容 ①芝居の流れの説明 ②みんなで声を出してみよう ③みんなでからだを動かしてみよう ④歌の練習「海に歌う」全員 「マングース」合いの手 「夜の海で歌われた歌」女性 ⑤選抜隊にダンスの振り入れ ⑥出演シーンの稽古 10～20人の出演予定です。 ⑦(時間が余れば)シアターゲーム？</p> | | |
| ワークショップの ねらい | <p>基本的には限られた時間のため、作品のどの部分で参加することになるのかを理解してもらうことが中心となります。</p> <p>全校児童・生徒での参加は、歌では作品のオープニングの曲であり、言葉の意味が伝わることに重心を置きます。</p> <p>ワークショップの最初では、全体の身体も、ココロもほぐれるような、遊びを取り入れたワークを行い、コミュニケーション能力を高めたうえで、主題のワークへと移行してきます。</p> <p>選抜で作品に俳優参加する10人は、自分たちでも公演まで稽古ができるような配慮をしつつ、自由な演技を取り入れる余地をもって、ワークショップを実施します。公演当日の最終チェックのリハーサルで、その部分を合わせます。参加する児童・生徒の創意工夫する能力が刺激されます。</p> <p>選抜で作品に女声コーラスで参加する児童・生徒は、聞かせる歌を目指してもらえよう実施します。</p> | | |
| その他ワークショップに 関する特記事項等 | <p>時間的余裕があるようでしたら、演劇的コミュニケーションワークショップも取り入れたいと思います。ただし、1時限だけでは参加部分のワークショップしかできないので、希望がある場合は、時間に余裕をもって計画していただきたいです。</p> <p>選抜隊のワークショップは、並行して別の内容になりますので、体育館のほか、音楽室などの教室を使わせていただきます。</p> | | |